

令和6年3月1日

東北町議会議長 岡山 粕 男 殿

産業建設常任委員会
委員長 坂 本 直 大

所管事務調査報告書

本委員会は所管事務の調査について、下記のとおり会議規則第47条の規定により報告します。

記

1 開催期日 令和6年2月15日（木）

2 開催場所 役場議員控室

3 調査事項

（1）所管事務調査

- ① 農林水産課 ・有機供給センターの現状と今後の対応について
・令和5年度主要事業の進捗状況について
- ② 商工観光課 ・東北町駅前にぎわいパートナー事業の概要について

4 調査結果

本委員会は、閉会中の調査事項でありました所管事務について、町側から副町長及び担当課長の出席を求め、開催しました。

調査の方法は、町側から説明を求め、その後質疑を行いました。

以下、調査の概要と質疑等のありました主なものについて、報告いたします。

農林水産課

- ・有機供給センターの現状と今後の対応について

直近 5 か年の収支詳細

	H30	R元	R2	R3	R4
歳 入					
製品販売額	23,506	20,881	19,111	15,041	19,905
乳用牛堆肥処理	116	86	85	85	86
野菜残渣処理	1,218	2,052	1,949	1,633	1,403
合 計	24,840	23,019	21,145	16,759	21,394
歳 出					
人件費	5,089	4,725	4,855	4,294	4,350
原料堆肥・資材費等	9,109	9,569	9,910	8,505	9,133
棚卸差異	△1,300	2,056	1,430	1	△4,613
車両・修繕費等	8,399	6,510	7,747	8,616	12,838
水道光熱費	1,346	1,171	1,184	1,339	1,417
雑費・その他	728	541	484	377	417
合 計	23,371	24,572	25,610	23,132	23,542
差引収支	1,469	△1,553	△4,465	△6,373	△2,148

※町では堆肥購入額の 3/10 以内を助成してきたが、高騰する化学肥料の代替として令和 4 年度から助成率を 1/2 に引上げて支援

今後に向けた対応（製品販売額の改善）

課 題	対応方針
○ 町内における販売の強化	○ 町内における販売の強化 ・商品性能の再検証・宣伝強化 (商品の有効性を再検証した上で、町 TV や広報誌等で周知。) ・小規模、高齢農家のニーズに対応。
○ 町外における販売の強化	○ 町外における販売の強化 ・津軽方面（施設栽培等）【県内】 ・販売実績のある他県【県外】

今後に向けた対応（車両・修繕費の改善）

課 題	対応方針
○ 平成 18 年の運用開始時に整備した施設、設備が老朽化。	○ 今後数年間かけて町が費用を負担し運営に最低限必要な設備の更新及び長寿命化を実施。 ※令和 6 年度当初予算での実施予定内容 ・堆肥運搬車荷台のステンレス加工 ・ホイールローダーのバケット交換 (今後の検討次第で年度途中に追加の可能性あり)
○ 指定管理者（ゆうき青森農協）が、毎年、多額の修繕費等を負担。	○ その間、指定管理者は販売面を強化収益の改善に努める。
○ 一方で海外依存度の高い化学肥料が高騰。全国的に地域資源である堆肥の活用が図られてる状況。	
○ 町としても堆肥センターの運用継続に向けて、検討していく必要。	○ 毎年、町と指定管理者とで、販売や収支状況を踏まえて協議を行い、新たな設備投資も含めて今後の施設利用の在り方を検討していく。

【要望】 実際自分が確保している堆肥と比較すると単価がすごく高いです。炭素率をもっと高く上げた堆肥が供給できないかということや原料の確保等も含めてまだまだ課題がある。また、需給の関係で一番ニンニクで使う時に供給量が足りないという農家からの意見もありますので、その辺もこれからの検討課題で取り組んでいただければと思います。

【質疑】 町の補助率は、6年度もこのまま並行していきますか。

【回答】 令和4年度から10分の3から2分の1に引き上げています。令和5年度も2分の1、令和6年度も同じ2分の1で検討しています。

・令和5年度主要事業の進捗状況について

	事業名	総事業費 (千円)	事業の進捗状況
1	土づくりのための土壌診断推進事業	2,000	実績見込件数:1,273 件 実績見込額:1,273 千円
2	健康な土づくり推進事業	10,000	実績見込量:ともどう:3,741 m ³ 土作くん:230.5 m ³ 実績見込額:8,104 千円
3	緑肥作物導入促進事業	7,500	実績見込者:277 名 実績見込額:7,231 千円
4	収入保険加入促進事業	3,400	対象者:20 名 実績見込額:3,168 千円
5	農林水産業経営基盤強化推進事業	20,000	○スマート農業関連支援事業 対象経営体:14 件 内完了:11 件 ○農林水産業経営継続支援事業 対象経営体:54 件 内完了:49 件 実績見込額:19,793 千円
6	町家畜導入推進事業	5,000	実績見込額:5,000 千円 和牛:16 頭 乳牛:34 頭
7	獣医師確保対策事業	2,160	実績見込件数:家賃補助・獣医師手当とも申請者1名 実績見込額:552 千円(前期分は支払済)
8	草地更新支援事業	15,000	実績見込額:2,846 千円 実績見込件数:9団体
9	県営中山間地域総合整備事業	51,000	全体事業費 2,491,500 千円 R5 年度までの事業費 2,220,700 千円 進捗率 89.1%
10	県営土場川地区経営体育成基盤整備事業	35,918	全体事業費 14,247,000 千円 R5 年度までの事業費 10,107,581 千円 進捗率 70.9%
11	県営通作条件整備事業	13,260	全体事業費 455,000 千円 R5 年度までの事業費 293,008 千円 進捗率 64.4%
12	県営赤川地区経営体育成基盤整備事業	600	全体事業費 807,000 千円 R5 年度までの事業費 807,000 千円 進捗率 100%
13	民有林野造林間伐事業	2,400	実績見込額:2,400 千円 実績見込団体:3団体
14	しじみ貝種苗生産事業	1,050	実績見込額:650 千円 ※1,052,650 万個体放流
15	うなぎ稚魚放流事業	500	完了 実績額:500 千円 ※80 kg放流

【要望】 我が町の議会でも小川原湖環境保全対策特別委員会で陳情等しておりますが、今後、三沢市や六ヶ所村を含めた広域的な協議会を立ち上げて、取組を強化するとともに問題点を提起し、もっと陳情、請願等する必要があると思います。

商工観光課

- ・東北町駅前にぎわいパートナー事業の概要について

東北町駅前にぎわいパートナー事業実施要綱（案） 抜粋
（趣旨）

第1条 この要綱は、乙供駅及び上北町駅周辺のまちなかにおけるにぎわい創出を図る事業者や団体等（以下「団体等」という。）を駅前にぎわいパートナー（以下「パートナー」という。）として登録することで、連携して中心市街地の活性化を推進することを目的とし、事業の実施について必要な事項を定めるものとする。

（登録対象となる団体等）

第2条 登録の対象となる団体等は、別表に掲げる公共空間において、町の中心市街地活性化の一環として、広く町民や来訪者を対象にしたにぎわい創出につながる事業を実施しようとする町内在住者又は町内に事業所を有する者とする。

（登録及び町ホームページ等への掲載）

第3条 登録を受けようとする団体等は、駅前にぎわいパートナー登録申請書（様式第1号）を町長に提出しなければならない。

2 町長は、前項に規定する申請について登録の可否を審査し、駅前にぎわいパートナー登録決定通知書（様式第2号）によりパートナーに通知するとともに、登録を認めたときは、町ホームページ等への掲載により公開することができるものとする。

（使用料）

第7条 パートナーが別表に掲げる公共空間において事業を実施するときの使用料は、無料とする。

別表 駅前にぎわいパートナー使用許可対象公共空間一覧

名 称	所 管 課
乙供駅北側町有地	商工観光課
上北町駅イベント広場	商工観光課

【質疑】募集して何団体ぐらい参加してもらう、パートナーになってもらえればというのはありますか。

【回答】東北町の各種団体、商工会の青年部、事業をされている方々も含めて、最低10団体から20団体ぐらいの登録が欲しいなというふうに考えております。平日や土日に両方の駅前の空いているスペースを使って何か催しをしていただいて、人が集まる場所にしたいと考えています。

【質疑】事業者が登録するメリットとしては、駅前の広場を使えるということと、ホームページに掲載されるということだと思うのですが、中長期的にどういうメリットを町側としてイメージしていますか。

【回答】本来であれば駅前は使用料がかかりますが、それを町の実施する事業ということで、無料でできること。また駅前に人が集まることによって、駅前の商店街も賑わうことを期待しております。

建設課 ・補正予算の概要説明
農林水産課 ・補正予算の概要説明
商工観光課 ・補正予算の概要説明
上下水道課 ・補正予算の概要説明
農業委員会 ・補正予算の概要説明

その他

建設課

・専決処分の報告について

専決処分を必要とした理由

寺沢橋補修工事について、現場精査により工事内容に変更が生じたため専決処分したものである。

令和5年第3回東北町議会定例会議案第86号をもって議決を経た寺沢橋補修工事の請負契約の一部を次のとおり変更する。

請負代金「52,712,000円」を「52,096,000円」に変更する。

(変更工事の概要)

工種	種別	単位	変更前	変更後	増減
ひび割れ補修工	ひび割れ補修工 (亜硝酸リチウム)	m	621.2	694.6	73.4
	ひび割れ補修工 (エポキシ樹脂)	m	1.9	1.2	△0.7
仮設工	交通誘導警備員 B	人日	78.0	0.0	△78.0